

## 第 3 章 調査票



## 町田市 男女平等参画に関するアンケート調査 ～ 調査ご協力のお願い ～

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。町田市では、「男女平等参画都市」の宣言、「男女平等推進計画」の策定を行い、男女が平等で、一人ひとりの人権を尊重し合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる「男女平等参画社会」の実現をめざして様々な取り組みを進めています。

このたび、新たに「(仮称) 第6次町田市男女平等推進計画 (2027～2031)」を策定するにあたり、市民の皆様の意識やお考えを次期計画に反映させるとともに、男女平等に関する意識の変化を確認することを目的として「男女平等参画に関するアンケート調査」を実施させていただきます。

調査の対象として、市内にお住まいの18歳以上の男女3,000人の方を無作為に選ばせていただいた結果、あなた様にご協力をお願いすることになりました。お答えいただいた内容は、統計的な数値として処理しますので、記入者が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

2025年8月

町田市長 石坂 丈一

### 【 ご回答の方法 】

「郵送」もしくは「インターネット」のどちらか一方でご回答をお願いいたします。

#### 「郵送」にてご回答の場合

- ・調査票にはお名前をご記入いただく必要はありません。
- ・(○は1つ) (○はいくつでも) などの説明にしたがって○をつけてください。
- ・「その他」にあてはまる場合は、( ) 内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- ・質問によっては回答していただく方が限られる場合があります。  
矢印や「ごくり書き」をよくお読みください。
- ・回答ご迷う場合は、あなたのお考えにできるだけ近いものをお選びください。
- ・ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご返送ください。

#### 「インターネット」にてご回答の場合

- ・インターネットでご回答の場合、調査票の郵送は不要です。
- ・下記①、②のいずれかの方法で回答ページにお入りください。
- ①スマートフォンで右記のQRコードを認識
- ②パソコンでウェブブラウザから下記URLを入力  
<https://ttk.graffer.jp/city-machi/alias/danjysurvey2025>



**ご回答期限：令和7年8月22日(金)まで**

【お問い合わせ】町田市 市民部市民協働推進課 男女平等推進センター  
電話：042-723-2908 (平日9:00～17:00まで)

## 家庭内の役割分担について

問1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、どう思いますか。

(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問2 ご家庭での役割分担はどうなっていますか。最も近いものを1つお選びください。

(○は1つ)

1. 男性は仕事、女性は家事・育児を分担している
2. 男性は仕事、女性は家事・育児に差し支えない範囲で仕事をしている
3. 男女とも仕事をし、家事・育児は主に女性が分担している
4. 男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している
5. 女性の仕事、男性は家事・育児を分担している
6. その他 ( )
7. 分担するような相手がいない

## ワーク・ライフ・バランスについて

問3 地域活動や社会活動などに参加していますか。

(○はいくつでも)

1. 自治会・町内会・子ども会などの委員をしている
2. 民生委員など国や地方自治体の委員をしている
3. 保護者会やPTAの委員をしている
4. 青少年の健全育成に関わる活動の指導者やリーダーをしている
5. NPO、ボランティア活動をしている
6. 消防団や防犯パトロール隊など、地域の防災・防犯活動に参加している
7. 地域の中で趣味・スポーツ等の会やグループに参加している
8. その他 ( )
9. 参加していない ⇒ 問3-1へ

【問3で「9. 参加していない」とお答えの方にお聞きします。】

問3-1 地域活動や社会活動に参加していない理由は何ですか。 (〇はいくつでも)

1. 仕事が多すぎて余裕がない
2. 家事、育児、介護などが忙しくて余裕がない
3. 家族の理解・協力が得られない
4. 参加したい活動が見つからない
5. 参加方法がわからない、きっかけがない
6. 関心がない
7. 人間関係がわずらわしい
8. 健康に自信がない
9. その他 ( )
10. 特になし

【ここからは全員にお聞きします。】

問4 生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度の希望に最も近いものを1つだけお選びください。 (〇は1つ)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい

問5 生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の現実(現状)に最も近いものを1つだけお選びください。 (〇は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している

問6 男性と女性がともに家事、子育て、介護、地域活動を積極的に担うためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

1. 男性が家事や地域活動へ気軽に参加できるよう、啓発や身近な情報・相談窓口の提供をすすめる
2. 男性が家事や子育てなどを担うことに対する評価を高める
3. 男性が仕事中心の考え方を改め、家事などを担うことに対する抵抗感をなくす
4. 女性が、男性が家事などを担うことに対する抵抗感をなくす
5. 男性が子育てや介護、地域活動を活断に行うことができるよう、仲間づくりを支援する
6. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる
7. 仕事と家庭の両立を支援するための保育や介護の体制を充実させる
8. 企業が、男女ともに家事と仕事を両立できる職場環境を整える
9. 在宅勤務など、多様な働き方を進めることで、仕事以外の時間をより多く持つようになる
10. その他 ( )

子育て・介護について

問7 子育ての役割についてどう思いますか。 (〇は1つ)

1. 子育ては体力が必要なので男性が積極的に取り組むほうがよい
2. 男性が中心になり女性も手助けするのがよい
3. 男性も女性も同じように分担するのがよい
4. 女性が中心になり男性も手助けするのがよい
5. 子育ては女性の役割だと思う
6. その他 ( )
7. わからない

【介護が必要な家族がいる方にお聞きします。】

問8 あなたの家庭では、その方の介護は、主にどなたが行っていますか。(介護される方から見た順序をお選びください) (〇は1つ)

1. 配偶者
2. 娘
3. 息子
4. 属子の配偶者
5. その他の家族
6. ホームヘルパーなどの在宅介護サービスを利用している
7. 高齢者向け施設や病院に入所している
8. その他 ( )

【ここからは全員にお聞きします。】

問9 家庭での高齢者や病人の介護の役割についてどう思いますか。 (〇は1つ)

1. 介護は体力が必要なので男性が積極的に取り組むほうがよい
2. 男性が中心になり女性も手助けするのがよい
3. 男性も女性も同じように分担するのがよい
4. 女性が中心になり男性も手助けするのがよい
5. 介護は女性の役割だと思う
6. その他 ( )
7. わからない

教育について

問10 男女平等を推進していくために、学校教育ではどのようなことに入力入ると良いと思いますか。 (〇はいくつでも)

1. 男女平等の意識を育てる授業をする
2. 日常の活動の中で、男女平等の意識を育てる指導をする
3. 生活指導や進路指導において、男女の区別なく個性や能力をいかせるよう配慮する
4. 教職員への男女平等研修を充実する
5. 校長や副校長などの役割に就く女性を増やしていく
6. 男女がお互いの性と健康に理解を深め、人権を尊重する性教育を充実する
7. 男女平等教育への保護者の理解を深める
8. その他 ( )
9. 特にない

就労について

問11 あなたの職業を1つお選びください。複数あてはまる場合は、主なものを1つお選びください。(出産休暇や育児・介護休暇の方も含む) (〇は1つ)

1. 自営業・自営業・家族従業員
  2. 常勤(正社員、フルタイム)
  3. 契約社員・派遣社員・パート・アルバイト
  4. その他 ( )
  5. 職業には就いていない(専業主婦、学生など)
- ⇒ 問11-1A

【問11で「1. 自営業・自営業・家族従業員」、「2. 常勤(正社員、フルタイム)」、「3. 契約社員・派遣社員・パート・アルバイト」とお答えの方にお聞きします。】  
問11-1 あなたの職場では、次のようなことがあると感じますか。 (〇はいくつでも)

1. 募集・採用に男女差がある
2. 賃金に男女差がある
3. 昇進・昇格に男女差がある
4. 職務内容・配置に男女差がある
5. 教育訓練・研修に男女差がある
6. 結婚や出産で退職しなければならぬような雰囲気がある
7. 育児休業がとりにくい
8. 女性も男性と同じように時間外労働や深夜勤務がある
9. その他 ( )
10. 女性と男性で違いはない

【ここからは全員にお聞きします。】

問12 女性が職業を持つことについてどう思いますか。 (〇は1つ)

1. 女性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは職業を持ち、結婚後は家事に専念した方がよい
3. 子どもができたままでは職業を持ち、子どもができたら家事・育児に専念した方がよい
4. 子どもができたら辞め、子どもに手がつかなくなったら再び職業を持つ方がよい
5. 結婚・出産にかかわらずずっと職業を持つ方がよい
6. その他 ( )
7. わからない

問13 女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

1. 育児・介護休業制度の普及を図る
2. 保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実する
3. 地域で子育てを支える仕組みをつくる
4. 高齢者や病人の世話を支える制度やサービスを充実する
5. 家族の中での理解を深める
6. 上司や同僚の子育てに対する理解を深める
7. 結婚・出産退職の慣習をなくす
8. 労働時間の短縮等の労働条件を改善する
9. 昇進・賃金・教育訓練などでの男女の不公平な取り扱いをなくす
10. 男性の家事や育児を行う意識や能力を高める
11. その他 ( )
12. わからない

問14 子育てや介護によりいっぴりいったん離職した女性が再就職や起業するために、どのようなことが必要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

1. 気軽に相談できる窓口の充実
2. 育児や介護により離職した職員をもとの会社で再雇用する制度の導入
3. 個別の状況に応じた柔軟な勤続形態（在宅勤務や短時間勤務など）の導入
4. 再就職準備のためのセミナーや能力向上のための学習機会の提供
5. 女性の起業に関する情報提供や相談体制
6. 企業における事業所内の託児施設の整備
7. 地域の保育園、学童保育などの保育サービスの充実
8. 高齢者や病人の世話を支障する制度やサービスの充実
9. 女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力
10. 男性の家事や育児を行う意識や能力を高める
11. その他（ )
12. わからない

問15 育児を行うために、自分自身が「育児休業制度」を利用することについてどう思いますか。（現在、必要のない方も必要になった場合を想定してお答えください。） (〇は1つ)

1. 利用したい
2. 利用したいが利用できそうにないと思う
3. 利用したくない
4. わからない

問16 家族介護を行うために、自分自身が「介護休業制度」を利用することについてどう思いますか。（現在、必要のない方も必要になった場合を想定してお答えください。） (〇は1つ)

1. 利用したい
2. 利用したいが利用できそうにないと思う
3. 利用したくない
4. わからない

問17 男性が育児休業をとることについて、あなたはどのようになりますか。 (〇は1つ)

1. 男性が育児休業をとる必要はない
2. 育児休業は取りやすい方がとればよい
3. 男性も一定期間、育児休業を取るようにした方がよい
4. その他（ )

### 人権について

問18 これまでに次のような「セクシュアル・ハラスメント」を受けた経験がありますか。 (〇はいくつでも)

1. いやがっているのに卑わいな話やわい駭を聞かされた
2. 「女（男）のくせに」「女（男）だから」と差別的な言い方をされた
3. 身体をさわられた
4. 宴会などでお酌やテュエットを強要された
5. 交際を強要された
6. 性的なうわさをたてられた
7. 結婚や交際についてしつこく聞かれた
8. 容姿について傷つくようなことを言われた
9. 帰宅途中などに後をつけられたり、つきまどわれたりした
10. プライバシーに関することや性的な内容の手紙や電話を受けた
11. ヌード写真や卑わいな雑誌を目につくところに置かれたり、貼られたりした
12. その他（ )
13. 特にない

問19 次のようなことが配偶者（事実婚や別居、離婚を含む）やパートナー・恋人の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。（ア）～（コ）のそれぞれについて、「1」～「3」のうちあなたの考えに近い番号に〇をつけてください。 (〇はそれぞれ1つずつ)

	驚か し 感 も 思 う	あ も も 思 う	恐 ろ さ も 思 う	暴 力 だ と 思 う
(ア) 命の危険を感じるくらい暴力	1	2	3	
(イ) 身体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為	1	2	3	
(ウ) 何を言っても無視すること	1	2	3	
(エ) 「誰のおかげで食べられるんだ」などと言うこと	1	2	3	
(オ) 大声で怒鳴ること	1	2	3	
(カ) 大切にしているものをわざと壊したり、捨てたりすること	1	2	3	
(キ) 生活費を渡さないこと	1	2	3	
(ク) 交友関係や電話、メールなどを細かくチェックすること	1	2	3	
(ケ) 望まない性行為の強要	1	2	3	
(コ) 避妊に非協力	1	2	3	

問20 今までに配偶者（事実婚や別居、離別を含む）やパートナー・恋人などから次のような行為を受けたことはありませんか。(ア)～(サ)のそれぞれについて、「1」～「3」のうちあてはまる番号に○をつけてください。  
(○はそれぞれ1つずつ)

	1、 あ った	ま つ た
(ア) 命の危険を感じるくらいの暴力	1	3
(イ) 身体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為	1	3
(ウ) 何を言っても無視されること	1	3
(エ) 「誰のおかげで食べられるんだ」などと書かれること	1	3
(オ) 大声で怒鳴られること	1	3
(カ) 大切にしているものをわざと壊されたり、捨てられたりすること	1	3
(キ) 生活費を渡されないこと	1	3
(ク) 交友関係や電話、メールなどを細かくチェックされること	1	3
(ケ) 望まない性行為の強要	1	3
(コ) 離婚に非協力	1	3
(サ) その他 ( )	1	3

【問20で(ア)～(サ)のうち、1つでも「1、何度もあった」「2、1、2度あった」とお答えした方にお聞きします。】

問20-1 これまでに相手から受けた行為について誰かに伝えたり、相談したりしましたか。  
(○は1つ)

1. 相談した	2. 相談しなかった (できなかった)
---------	---------------------

【問20-1で「1.相談した」とお答えした方にお聞きします。】

問20-1-1 誰(どこ)に相談しましたか。  
(○はいくつでも)

1. 親族	
2. 友人・知人	
3. 同じような経験をした女性やグループ	
4. 民間の支援団体	
5. 家庭裁判所、弁護士	
6. 警察署	
7. 東京ウィメンズプラザや東京都女性相談センター	
8. 市役所等の相談窓口・電話相談など	
9. 医師、カウンセラーなど	
10. その他 ( )	

【問20-1で「2.相談しなかった(できなかった)とお答えした方にお聞きします。】  
問20-1-2 誰(どこ)にも相談しなかった(できなかった)理由は何ですか。  
(○はいくつでも)

1. 相談できる人がいなかったから	
2. どこに相談してよいかわからなかったから	
3. 相談しても無駄だと思ったから	
4. 相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思ったから	
5. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから	
6. 自分さえ我慢すればこのままやっていけると思ったから	
7. 他人を巻き込みたくなかったから	
8. 自分にも悪いところがあると思ったから	
9. 相談するほどのことではないと思ったから	
10. 相談した相手の言動により、不快な思いをすと思ったから	
11. 子どもに危害が及ぶと思ったから	
12. その他 ( )	
13. 特になし	

【ここからは全員にお聞きします。】

問21 「ドメスティック・バイオレンス (DV) (※)」に対する対策や援助として、特にとどのようなものを充実すべきだと思いますか。  
(○はいくつでも)

1. 家庭内であれ、暴力は犯罪となる行為を含む重大な人権侵害である、という意識を啓発する	
2. いざという時に駆け込める緊急避難場所(シェルター)を整備する	
3. 相談体制を充実し、理解のある専門スタッフを常駐させる	
4. 住居や就労斡旋、経済的援助など、生活支援を充実する	
5. カウンセリングや日常的な相談など、精神的援助を充実する	
6. 関連機関の紹介や暴力への対応方法など、ドメスティック・バイオレンスに関する情報提供を充実する	
7. 法律による精神の強化や見直しを行う	
8. 加害者に対する厳正な対処や更生に関する対策を充実する	
9. その他 ( )	
10. わからない	

(※) ドメスティック・バイオレンス (DV) とは、配偶者や恋人など親密な関係にある、または過去にあった人からふるわれる暴力(身体的・心理的・性的)、という意味で使われています。

性の多様性について

問22 性的マイノリティ（性的少数者）という言葉を知っていますか。 (〇は1つ)

- 1. 内容まで詳しく知っている
- 2. おおよそ知っている
- 3. 言葉は聞いたことがある
- 4. 知らなかった

問23 身近な人から同性愛者やトランスジェンダーなどと打ち明けられた場合、これまでと変わりなく接することができそうですか。 (〇は1つ)

- 1. できそう
- 2. できないかもしれない
- 3. わからない

問24 今まで自分の性別や恋愛対象となる性別などについて悩んだことはありますか。 (〇は1つ)

- 1. 悩んだことがある
- 2. 多少悩んだことがある
- 3. あまり悩んだことはない
- 4. 悩んだことはない

問25 性的マイノリティの人々に対する偏見がなくなり、社会で生活しやすくなるためには、何が必要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

- 1. 啓発リーフレット等の作成・配布
- 2. ホームページやX、Facebook、Instagram を活用した情報発信
- 3. 相談できる窓口の設置
- 4. 性的マイノリティの方と交流できる場づくり
- 5. 性的マイノリティの方同士が交流できる場づくり
- 6. 性別に関係なく使用できる更衣室や制服の選択制などの配慮
- 7. 書籍やアンケート等における性別偏見の見直し
- 8. 性の多様性を理解するための学校教育
- 9. 市民向け講座等の開催
- 10. 行政職員や教職員等への研修の実施
- 11. その他 ( )

防災対応について

問26 災害時に備えた男女双方の視点を取り入れた防災対応として、どのようなことが重要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

- 1. 女性や子どもに対する暴力の防止策を講じたり、プライバシーに配慮した相談窓口を設置する
- 2. 防災分野の委員会や会館に、より多くの女性が参加できるようにする
- 3. 性別の違いへの配慮など様々な視点で対応できるように性別にかかわらず地域の防災リーダーを育成する
- 4. 災害に関する各種対応マニュアルなどに男女平等参画の視点を入れる
- 5. 消防などの分野において、防災現場に女性が十分に配置されるよう、採用・登用段階を含めて留意する
- 6. 避難施設の設備や備品に女性や性的マイノリティ（性的少数者）等の意見を反映させる
- 7. その他 ( )
- 8. わからない

女性活躍推進について

問27 まちづくりや福祉など、市のこれからの政策や方針を決定する場の一つに審議会があります。町田市で設けている審議会などの女性委員の比率は30.7%です（2025年4月1日現在）。このことについて、あなたはどのように思いますか。 (〇は1つ)

- 1. 今のままでよい
- 2. もう少し女性が増えた方がよい
- 3. 男女半々くらいまで女性が増えた方がよい
- 4. 性別にこだわらなくてもよい
- 5. その他 ( )

問28 働く場における女性の管理職への登用など、女性の参画を促すには、どのような支援が必要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

- 1. 企業における女性の採用・登用の促進
- 2. 女性の登用について具体的な目標値の設定
- 3. 女性のロールモデルの発掘・活躍事例の提供
- 4. 女性が働き続けたいことのできる相談体制の充実
- 5. 男女平等参画に積極的に取り組む企業への支援
- 6. 女性の管理職への支援
- 7. 保育・介護の支援などの公的サービス
- 8. その他 ( )
- 9. わからない

問29 政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思えますか。(ア)～(セ)のそれぞれに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 現時点では、必要な知識や経験などを身につけていないこと	
2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと	
3. 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと	
4. 長時間労働の改善が十分ではないこと	
5. 企業などにおいては、管理職になるとは域異動が増えること	
6. 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと	
7. 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと	
8. 家庭、職場、地域などに性別役割分担、性差別的意識による慣習があること	
9. その他 ( )	
10. 特になし	
11. わからない	

**男女平等について**

問30 次にあげる分野において女性と男性が平等になっていると思いませんか。(ア)～(ク)のそれぞれについて、1～6のうちあなたの感じ方に近い番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

分野	1	2	3	4	5	6
(ア) 家庭生活	1	2	3	4	5	6
(イ) 職場	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
(エ) 自治会やPTAなどの地域活動の場	1	2	3	4	5	6
(オ) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(カ) 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
(キ) 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(ク) 社会全体として	1	2	3	4	5	6

問31 次の法律や言葉を知っていますか。(ア)～(セ)のそれぞれについて、1～4のうちあてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	知っている	知らない	詳しく	知らない
(ア) アンコンシヤス・バイアス (無意識の思い込み)	1	2	3	4
(イ) 固定的な性別役割分担意識	1	2	3	4
(ウ) 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律	1	2	3	4
(エ) SOGI (性自認・性的指向)	1	2	3	4
(オ) 女性活躍推進法	1	2	3	4
(カ) ジェンダー平等	1	2	3	4
(キ) 男女平等参画社会	1	2	3	4
(ク) デートDV (恋人などの親密な関係にある者から受ける暴力)	1	2	3	4
(ケ) ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3	4
(コ) 町田市性の多様性の尊重に関する条例	1	2	3	4
(サ) 町田市男女平等参画部市言	1	2	3	4
(シ) 町田市パートナーシップ宣誓制度	1	2	3	4
(ス) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利)	1	2	3	4
(セ) ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3	4

問32 男女平等参画社会を実現していくために、今後、町田市はどのようなことかを入れたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 男女平等参画を進めるための意識を啓発する
2. 学校教育を始めとしたあらゆる教育の場における男女平等教育を推進する
3. 政策・方針決定の場などへの女性の積極的な参画を進める
4. 男女がお互いの性と健康を尊重し、理解を深めるための事業を充実させる
5. LGB Tなど性の多様性に関する理解促進を行う
6. 防災の現場 (避難施設など) において、男女平等参画を推進する
7. 公共の場における性別差別を助長する表現やいさぎよき性表現を是正する
8. 子育てに関する施策・サービスを充実させる
9. 高齢者介護に関する施策・サービスを充実させる
10. 男女平等参画推進団体やNPOとの連携を進める
11. 育児・介護休業制度の利用促進や男女与等待遇の徹底など、働く環境を改善する
12. 女性に対するあらゆる暴力を根絶するよう啓発を進める
13. 女性悩みごと相談やLGB T相談など、各種相談事業を充実させる
14. その他 ( )

